ひたちなか市
まちづくりニュースレター **協働**
2015. 2 vol. 4

「ひたちなか市 まちづくりニュースレター」は、ひたちなか市で行われている協働事業の紹介や、まちづくり活動、地域コミュニティ組織の情報などを中心にお届けいたします。

「市民活動パネル展」

▲ 市民活動パネル展（上写真）と
市民憲章広報部会のブース（下写真）

産業交流フェアの会場において市民活動に関するパネル展示を行いました

平成26年11月２日・３日に「市民活動パネル展」を行いました。

これは「ひたちなか市産業交流フェア」の“産業紹介、団体・行政ＰＲ”の中で行ったもので、市民憲章広報部会とひたちなか西地区防犯協会のブースの間を使ってパネルを展示しました。

市民憲章、自治会、コミュニティ組織、地域運営の始まったコミュニティセンター、市民交流センターひたちなか・ま、市民活動サポートバンク（げんき-NET ひたちなか）、ふれ愛隊養成研修講座、多文化共生についてわかりやすく説明した手作りのパネルを13枚展示、合わせてチラシや冊子などを配布し市民活動を紹介しました。

２日間の展示で、市内で行われている市民活動について、多くの方に知っていただく機会となりました。

▼ 13枚のパネルを展示し市民活動を紹介しました

特集 地域コミュニティによるコミュニティセンター等の運営が始まっています

平成26年度に地域運営の始まった５施設の開所式のようす

▲佐野コミュニティセンター

▲津田コミュニティセンター

▲市毛コミュニティセンター

▲前渡コミュニティセンター

▲那珂湊コミュニティセンター

　ひたちなか市では、平成24年度から地域コミュニティ組織による公民館等の地域運営を進めてきました。

　平成26年度は、**津田コミュニティセンター、市毛コミュニティセンター、前渡コミュニティセンター、佐野コミュニティセンター、那珂湊コミュニティセンター**の５つの施設において、各地域のコミュニティ組織による地域運営が始まりました。

　これにより、市内の公民館等は全て地域コミュニティ組織による地域運営となり、現在８つのコミュニティ組織によって12施設の運営が行われています。今年度、地域運営となった施設の取り組み状況について紹介します。

「市民活動拠点施設」のホームページ

市民活動課のホームページ「市民活動拠点施設」には、各コミュニティセンター等の「お知らせ」、「利用案内」、「施設案内」等について掲載していますのでご覧ください。

http://www.city.hitachinaka.lg.jp/site/center/

施設名	住所	電話番号	運営組織	開始年度
市民交流センター　ひたちなか・ま	勝田中央１番２号	276-0101	NPO法人 未来ネットワークひたちなか・ま	H16
１中地区コミュニティセンター	長堀町３丁目４番１号	275-2671	一中地区地域のふれあいを広める会	H24
津田コミュニティセンター	津田 2732	274-4121	二中学区地域の輪をつくる会	H26
市毛コミュニティセンター	市毛 980	272-3766		
前渡コミュニティセンター	馬渡 2980-1	274-7727	前渡を明るく住みよくする会	
佐野コミュニティセンター	高場 190	285-6685	佐野の和を推進する会	
大島コミュニティセンター	外野１丁目１番１号	274-1226	大島コミセン地区地域づくりの会	H25
田彦コミュニティセンター	田彦 950-128	274-5222	田彦中学区地域づくりの会	
那珂湊コミュニティセンター	鍛治屋窪 3566	263-7266	湊中学区地域を住みよくする会	H26
部田野館	部田野 1180-1			
柳沢館	柳沢 472			
平磯コミュニティセンター	平磯町 1350	263-7630	平中学区明るい地域づくりの会	H25
湊公園ふれあい館	湊中央 1-1-1	262-3167	湊中学区地域を住みよくする会	

那珂湊コミュニティセンター

▲柳沢館

▲部田野館

『親しまれるコミュニティセンターを目指して』

「コミュニティセンター」として　さらに地域に密着した環境をつくりたい
那珂湊・柳沢・部田野の３施設で湊中地区の地域活動を担う

小沼 慶三 センター長

平成26年4月、那珂湊公民館が地域運営となり、那珂湊コミュニティセンターとしてスタートしました。また、柳沢公民館と部田野公民館も地元自治会の協力のもと那珂湊コミュニティセンター柳沢館・部田野館として管理・運営を行っています。

スタート当初は、名称の変更や手続等になれないため、多少戸惑いもありましたが、半年を過ぎて私をはじめ職員は環境に馴染んできたところです。

当センターは、生涯学習や地域づくりの拠点として、利用者に利用しやすく親しみやすいセンターづくりを目指しております。

特に、職員はセンター内外の環境整備に積極的に取り組んでおり、来館者をＢＧＭでお迎えし、季節感を演出するため「鯉のぼり」や「七夕」、「お月見」、「ハロウィン」などを館内に飾り、利用者の皆さんの目を楽しませています。

センターの利用についても登録団体等は利用当日に空き室があれば利用できるように変更して利便性を高め、また、夜間の利用がない場合は、午後７時30分で閉館するなど効率の良いセンター運営に努めています。

これからも、地域の皆さんの交流の場として職員と一体となって地域に親しまれ、愛されるセンターづくりに取り組んでいきます。

利用者の声

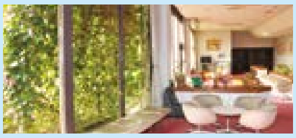
笑顔がいっぱい

那珂湊コミュニティセンターへ「こんにちはぁ…！」と入って行くと明るく迎えてくださるスタッフの皆さんの笑顔にホッとします。

今年から、地域運営に変わり施設内には、季節を感じる手作りの飾り付けが心を和ませてくれます。

私たち利用者も、今まで以上に親近感を持ってコミュニティセンターと一緒に、「社会的健康まちづくり」、「精神的健康こころづくり」、「身体的健康からだづくり」に協力していきたいと思っております。

吉村　孝子（みなとwaiwaiクラブ）



那珂湊コミュニティセンター

住　所	ひたちなか市鍛治屋窪 3566
電話番号	029 - 263 -7266
開館時間	8：30 ～ 22：00
休 館 日	第１・３月曜日、お盆、年末年始

津田コミュニティセンター

『結束・協調の精神で楽しく集う学び舎として…』

モデルコミュニティとして培ってきた　歴史と伝統を継承しつつ
さらに津田地域の絆を強め　人々が集う学び舎を築いていく

矢板 栄 副センター長

「明るく・楽しく・元気よく強めよう地域の絆」津田地域のより身近な活動拠点として、コミュニティセンターの地域運営がスタート致しました。

平成26年４月１日から、津田公民館は市より地域移管を二中学区地域の輪をつくる会が受け、津田コミュニティセンターとなりました。当センターは市の西部に位置し、近年約3,900世帯の方々や90の使用団体の集う拠点となっております。

昭和48年の開館以来、地域に支えられ41年間、代々の自治会役員の方々を中心にさまざまな行事等を催してきた市内唯一の平屋造りの歴史あるセンターであります。地域の熱い思いと皆様のご支援に支えられ使用率も非常に高い、まさにコミュニティの場となっております。

この津田地域のすばらしさをさらに継承するためにも、地域の方々やコミュニティセンター使用団体等の皆様と結束・協調の精神を大いに発揮し、利用し易いセンターを築いて参ります。職員一同、軍司センター長を中心に日々笑顔でお客様をお迎えして参ります。

利用者の声　コミュニティの先駆けとして

津田地区は、昭和46年に自治省よりモデルコミュニティとして指定を受けました。

公民館建設の折りには、地域住民の方々の御協力を得て、善意の寄付金を受け建てられた経緯があります。当時は「おらが公民館」という意識が強く、施設運営の方向性にも活発な意見が出されたと聞き及んでおります。

さて、今年４月、地域運営となり名称が変わりました。また、今までの社会教育の場としての理念が、緩やかになったこともあり、使用者の生涯学習への参加が、より幅広く身近になり、更に利用し易くなるのではないかと思っています。

先輩の方々の御苦労のお陰があって現在に至っておりますが、感謝を忘れず、今後もコミュニティセンターを使用させて頂きたいと思います。コミュニティの先駆けとしての津田地域において、ますます使用者が増えて活力あるセンターとなりますよう願っております。

草野　多美子（西山自治会）

津田コミュニティセンター

住　所	ひたちなか市津田 2732
電話番号	029 - 274 - 4121
開館時間	8：30 ～ 22：00
休 館 日	第１月曜日、お盆、年末年始

※津田コミュニティセンター、市毛コミュニティセンターは「二中学区地域の輪をつくる会【会長：軍司清（津田・市毛コミュニティセンター センター長）】」により、運営されています。

市毛 コミュニティセンター

『地域の魅力と情報を共有し 住民参加でつくる強い絆を目指して』

地域のつながりをさらに強くするきっかけを作りたい
市毛コミュニティセンターから 二中学区の地域の輪をさらに広げる

和地 孝之 副センター長

市毛コミュニティセンターは、**(い)いっしょに (ち)地域を (げ)げんきに**をスローガンに多様な力を活かし、世代を超えて地域力を向上させ、人と人とのつながりを構築するきっかけ作りを提供していきたいと現在12名で管理運営をしています。

異年齢の子どもたちの交流の場として、子どもを持つ親同士の交流の場として、趣味を楽しむ場として、ご高齢の方々の憩いの場として、各部会の研修の場としての利用は数多く、さらに楽しく会話が弾み足を運ぶ回数がより増える充実した環境を整えていきたいと、今年は図書室と児童室のドアを改善しました。

過日行われた「コミュニティまつり」には、約2,000人の参加があり、それぞれのブースには地域を守る精鋭が集い、子どもたちの歓声や多くの方々の笑顔があふれました。２月には「ふくわの集い」が計画されています。

地域(人)のつながりは防災や防犯をはじめ、いざという時に助け合える「安心で安全な地域社会」を作ることにもつながります。

これからも市内各コミュニティセンターと連携を取りながら地域の輪を広げ、その役割を担っていきたいと思います。

利用者の声

地域の仲間をつくろう

平成26年４月から運営が地域移管となり生まれ変わった「市毛コミュニティセンター」。臨時駐車場が日立製作所のご厚意によりセンター東側に確保され、人々が集うにふさわしい施設となりました。

二中学区では、11月に「コミュニティまつり」、2月に「ふくわの集い」が行われ、大勢の人でにぎわいます。私たち青少年部会も、9月に「お月見だんごをつくってみよう会」の会場として利用し、多くの子どもたちが直接体験をとおして知恵や協働を学習しています。

これからは地域で支え合える仲間が必要です。仲間をつくってその輪を広げる。そんな役割を市毛コミュニティセンターと私たちで果たせたらいいですね。まずは、心優しいスタッフの皆さんに声をかけてみてください。

弓削 仁一(青少年部会長)

市毛コミュニティセンター

住　所	ひたちなか市市毛 980
電話番号	029 - 272 - 3766
開館時間	8：30 ～ 22：00
休 館 日	第１月曜日、お盆、年末年始

※津田コミュニティセンター、市毛コミュニティセンターは「二中学区地域の輪をつくる会【会長：軍司清(津田・市毛コミュニティセンター センター長)】」により、運営されています。

前渡 コミュニティセンター

『地域による地域のための…』

地域運営という利点を最大限に活かし　利便性の向上に取り組む
「地域が使いやすすコミセン」を実現するため　様々な「変化」にチャレンジする

飯島 光則 センター長

平成26年４月１日、前渡地区の皆さんの「出会い・ふれあい・学び合いの場」として、前渡コミュニティセンターが誕生しました。地域の皆さんに親しまれていた公民館から「地域による、地域のための、地域の運営」として、新たな始まりです。

スタート地点に立ったばかりですが、前渡コミュニティセンターの地域による運営は、「より地域に親しまれ、より人が集う施設への転換」を目指していきます。

そして、地域づくりの拠点、生涯学習の場として、さまざまな取り組みを行っていきたいと思っています。

まず最初の取り組みとして、私たち職員は、元気で明るく笑顔のある接遇を目指しています。特に、窓口対応はセンターの顔であり、その接遇に力をそそいでまいります。また、使い勝手のよいセンターを目指すために、素早く、融通性のある対応に努めていきたいと思っています。地域活性化に繋がるように、「地域運営ならではの良いところ」を目指し、これからも、さまざまな取り組みにチャレンジしながら、風通しがよい、環境整備にとりかかっていきます。

地域の皆さんが気軽に立ち寄れる場所、そして、皆さんが楽しめる場所、そして、皆さんの生涯活動の拠点となる「前渡コミュニティセンター」を目指し、職員一同、これからも頑張ってまいりますので、宜しくお願い致します。

利用者の声

地域の人が身近に感じる場所に

平成15年より子育て支援のボランティア活動で利用させて頂いております。本年４月からコミュニティセンターに変わるということで一寸不安に思っておりました。しかし窓口の受付が知り合いの方や女性が多くなったことでやさしく親しみやすくなったと感じています。

コミュニティセンターは地域の活動の拠点として、より身近に気軽に利用できる場であって欲しいと願っております。

ボランティア活動、趣味、自己啓発やふるさとまつりなど様々な活動に参加することによって大人も子供も地域の人々が楽しく、元気な気持ちになれるように協力していきたいと思っております。

渋原 佐智子（子育てひろばなかよしクラブ代表）

前渡コミュニティセンター

住　　所	ひたちなか市馬渡 2980-1
電話番号	029 - 274 - 7727
開館時間	8：30 ～ 22：00
休 館 日	第１・３月曜日、お盆、年末年始

佐野 コミュニティセンター

『佐野の和を結ぶ　地域の活動拠点となる』

開所式に駆けつけた大勢の利用者や地域の方々に支えられている佐野コミュニティセンター
地域の期待に応えるセンター運営により一層取り組んでいく

清水 傳吾兵衛 センター長

平成25年９月佐野の和を推進する会役員会において市からの委託を決め、以来、年明けから規約の整備、職員の採用等準備を進め、３月14日に臨時総会を開催して本会が佐野公民館を管理運営することを正式に決定しました。

４月２日には、本間市長、樋之口議長をはじめ多くの来賓をお迎えし、また利用者や地域の方々のご参加をいただき、開所式を盛大に開催し、佐野コミュニティセンターとして出発を祝いました。

特筆したいのは、利用者や地域の方々に大勢参加していただいたことであり、センターが地域の学び・交流の場であることを改めて認識するとともに、生涯学習の拠点として、地域のみなさんがより便利で使い勝手の良い親しめるセンター運営により、より一層取り組まなければならないと決意を新たにしたところです。

開所以来今日まで、休館日を減らして部屋の利用日数や利用回数を増やすなど、利用者の利便性の向上に努めているほか、玄関前には四季折々の花を植えたプランターを設置し、ロビーにおいては七夕飾りや、クリスマスツリーを置くなど、気持ちよく利用していただく工夫を施しております。

今後も利用者や地域のみなさんが楽しく交流できる、佐野地区の拠点施設であり続けるよう、そして当センターから「佐野の和」が一層の広がりを見せるよう、より良いサービスの提供に努めてまいります。

利用者の声

地域に愛されるセンター

コミュニティ活動に精通された佐野の和を推進する会役員と旧公民館職員、並びに新しく採用された受付担当者により構成されたセンターは、まとまり感があり親しみが持てる地域活動の拠点となっています。

利用者からは「窓口受付の対応が明るい」、「相談事に丁寧に対応していただいた」、「部屋での飲食が可能となり便利になった」、「季節毎に花や飾り付けがあり、華やかさ・親しみ易さを感じる」などの声も聞かれ、私も同じ気持ちで利用させていただいています。

これからも利用者や地域の人たちに愛されるセンターでありつづけて下さい。

藤原　博志（利用団体の会 会長）

佐野コミュニティセンター

住　所	ひたちなか市高場 190
電話番号	029 - 285 - 6685
開館時間	8：30 ～ 22：00
休 館 日	第３月曜日、お盆、年末年始

■ 市民活動コーディネーター

「ボランティア活動がしたい」、「ＰＴＡの講演会に最適な講師を探している」、「団体の活動を広くＰＲしたい」などのご相談に応じて、その内容にふさわしい人材、団体などをご紹介しています。

市民活動コーディネーターの取材記事

■げんき－ＮＥＴひたちなかブログ…市内の人材や団体・サークルなどを取材して、生の声をお届けしています。

市民活動を行うみなさんのためのサービス

■ひたちなか市地域ＳＮＳひなたねっと…市民活動を行うみなさんのための便利なサービスです。

http://blog.canpan.info/genki-net/

http://www.genkinet-hitachinaka.jp/genkiSNS/

■ ブログ冊子版
ブログの記事を再構成して冊子化したものを各コミュニティセンター等に設置しています。

市民活動団体等のデータベース

■ げんき－ＮＥＴひたちなか… 様々な団体の情報や講座・イベント情報などを掲載しています。

市民活動サポートバンク げんき－ＮＥＴひたちなか

http://www.genkinet-hitachinaka.jp/

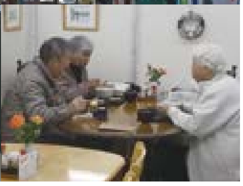
市民活動情報をみなさんに利活用していただくための市民活動サポートバンク、愛称は「げんき－ＮＥＴひたちなか」です。市内で活動している様々な団体の情報をホームページ上に掲載しています。

特定非営利活動法人

市内で活動するNPO法人を紹介します

※平成27年１月１日現在、市内に主たる事務所のみがあるNPO法人は、24法人あります。今回はそのうちの４つの法人を紹介します。

NPO法人 くらし協同館なかよし



■平成17年設立

「ふれあい」「生きがい」「支えあい」をスローガンに、すべての人々が安心して暮らせるまちづくりを目指し、さまざまな事業に取り組んでいる。生鮮食品の販売や食事の提供・喫茶サロン営業、趣味講座や健康体操、子育て交流会や市民交流会などを行っている。月曜日から土曜日まで開館。

くらし協同館なかよしは、高齢化が進む団地内の空き店舗を利用し、支援する人もされる人もお互いに喜びや生きがいを感じられる場所と時間を提供しています。

子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、気軽に集まれる“みんなのたまり場”。昨年度の来館者は、のべ86,000人にも上りました。

スタッフは、約90名。それぞれの知識や特技・アイディアを活かして、「くらし協同館なかよし」を支えています。手づくり惣菜や食事には産直の米や野菜が使われ、栄養バランスのよいやさしい味付けが人気。一人暮らしの高齢者の方への配達も行っています。

販売コーナーでは安全な食材が調達できるだけでなく、スタッフの心のこもった対応で、あたたかい会話や自然な見守りが行われ、利用者の方に信頼と安心を感じてもらっています。

年中行事や伝統食講座は、小さな子ども連れの家族など若い人たちに喜ばれるだけでなく、知識を伝承できる場・高齢者が活躍できる場として、幅広い世代が交流できる貴重な機会となっています。また、趣味の講座や子育て交流会で参加者同士が親睦を深め合い、その後の活動や交流につながっていることは、スタッフにとってもうれしいことです。

住民の要望から課題が見つかることもあり、これからも地域住民の声に耳を傾け、ともに支えあい安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

NPO法人 心の和

心の和は、人と人の心のわを大切にし、みんなの心が和める環境作りを目指して名づけられました。設立から６年が経過し、現在はスタッフ６名と20〜50代の利用者14名が、信頼関係を築きながら、就労支援事業所　心【Shin】で充実した一日を過ごしています。

働く意欲のあるみなさんは、到着すると早速作業を始めます。畑での無農薬野菜栽培や収穫したハーブでのドライハーブ作りのほか、シュシュやヘアゴム、木製クリップなど小物作りを行います。これらは、市内数か所のお店やイベントなどで販売されています。

また、ラベル貼りなどの軽作業や草とり・落ち葉集めといった便利屋さんとしての作業の請負も行っています。根っこまでしっかり抜く丁寧な仕事が自慢。障害があっても、それぞれの得意なことを引き出して作業を行うことは可能です。心【Shin】では、障害のある人を特別扱いするのではなく、社会に近い形で、それぞれの働きたいという意思を尊重したいと考えています。

「こちらの動揺はすぐに伝わってしまう」から、利用者のみなさんを不安にさせないため、スタッフはいつでも笑顔！「心の和」では、みんなが喜びや楽しさを共有し、活動しています。

お庭の草にお困りの方は、ぜひご相談ください。

■平成20年設立

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業を行っている。支援を必要とする人に対して、地域で日常生活または社会生活を営むために必要な支援などを行い、社会参加の機会や地域での共生の確保など、また地域福祉の増進に寄与することを目的としている。

■ NPOとは…

Non Profit Organization(ノン・プロフィット・オーガニゼイション)の頭文字をつづり合わせた用語です。「非営利組織」または「非営利民間組織」と訳されています。平成10年3月25日(法律第７号)に特定非営利活動促進法(NPO法)が制定され、NPO法人は、特定非営利活動促進法において掲げられた、保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、子ども健康育成、科学技術の振興、職業能力の開発・雇用機会の拡充など20種類の分野に該当する活動を、不特定かつ多数のものの利益に寄与することを目的として活動しています。

NPO法人 劇団クリエ

劇団クリエは、ミュージカルをやってみたいという仲間が集まり、1992年10月にひたちなか市で結成されました。1993年5月22日の旗揚げ公演以来、15本のオリジナルのミュージカルを制作し、ひたちなか市とつくば市での公演を合わせると、公演数は28回を数えます。

ミュージカルや演劇、ダンス、歌唱などの表現芸術を通して、多くの人々が表現することの喜びや舞台づくりの楽しさ、鑑賞することによる感動を味わいながら、ともに生きる姿勢を高め、成長し合える場を提供し、人間味あふれる豊かな地域社会の実現に貢献することを目的としています。

人との関わりが希薄な中で育つ子どもたちが多くなってきている現代社会の中、劇団クリエにおいて、子どもから大人まで「演じる」というひとつの大きな目標に向かっていく過程は、年長者は年少者を助け、キャリアのある者はより少ない者を助けあうことができます。時には、作品についてのことや稽古のあり方、参加する姿勢など、意見交換や議論を交わしたりしながら成長し合っていくこともできます。

今後はより多くの人々に、この劇団クリエでの活動を知ってもらい、また参加してもらって、表現する楽しさを共有したいと願っております。

ひたちなか市での活動はもちろん、他の地域、さらには世界中に活動の輪を広げていきたいと考えております。

■平成18年設立

ひたちなか市とつくば市で、オリジナルのミュージカルを制作・公演している劇団。公演を通して、劇団クリエのメッセージを積極的に伝え、人間味あふれる社会づくりに貢献する。また、学生や社会人向けのワークショップ・レッスンにおいて、自己表現力、創造力、協調性の高い人材の育成に取り組んでいる。

NPO法人 ひたちなか理科クラブ

■平成25年設立

小中学校の理科教育支援、地域の科学技術振興支援、地球大好きエコクラブ事業の３つを柱に活動している。市民交流センターで科学の講座を開催、産業交流フェアと同時開催の「青少年のための科学の祭典」に出展。子どもたちに科学の楽しさを伝える。

ひたちなか理科クラブは、21世紀の科学を担う子どもたちの夢と希望の実現を支援することを目的として、平成25年７月に設立され、研究者、教育者ＯＢなど26名で活動しています。

クラブの活動は主に、小学校の理科教育における実験や観察授業の支援、理科専門の先生の不足を補う目的で、全国的に展開されてきた特定のテーマに関する出前授業を、ひたちなか市独自のサイエンスサポーター事業として立ち上げ活動しています。

また、市民交流センターとの連携による「やさしい科学実験・工作教室」を開催し、地域の科学技術振興支援を行っています。今年度は、「カラフルいくらを使って科学実験」や「リニアモーターの原理を使った実験」などを行い、理科大好き小学生が不思議を求め、期待に胸を膨らませ参加しました。

設立以前から環境教育・啓蒙活動の一環として、地球大好きエコクラブ事業も活動しており、地球温暖化についてのエコ教育やエコカーモデルの実演、ホタル鑑賞会などを行っています。

これらの活動報告は、11月に行われた「科学の祭典ひたちなか大会」に出展され、たくさんの子どもたち達の目に触れ、話題となりました。

まちづくり情報館「ひたちなか」

まちづくり活動をしている団体等の紹介番組

市内でまちづくり活動をしている団体等にスポットをあて、市民や近隣住民に広くその活動を紹介していくラジオ番組【まちづくり情報館「ひたちなか」】を放送しています。

平成23年度から始まった、まちづくり情報館「ひたちなか」。今までに延べ240人の方に出演していただき、それぞれの団体の活動について熱い思いを語っていただきました。

この番組は、ラジオ局のスタジオから生放送で行われており、市民活動コーディネーターが同行取材し、その時の様子を、「げんき－ＮＥＴひたちなかブログ」で紹介しています。

▲市民活動コーディネーターも出演して「げんき－ＮＥＴひたちなか」をPRしました

FMぱるるん 76.2MHz

放送日
第２・第４木曜日
12:00 ～ 12:15

ボランティア初心者のための入門講座

げんき－ＮＥＴひたちなか
ボランティア"入門"講座を開催しました

▲ボディパーカッション

ボランティア活動を通して"いきいきと輝いている人"を講師として招き、ボランティア初心者にその素晴らしさを学んでもらおうと「**げんき－ＮＥＴひたちなかボランティア"入門"講座**」（全６回、企画：市民活動コーディネーター）を開催しました。

アロマハンドマッサージ、バルーンアート、ボディパーカッション、マジック、おんがく … など様々なジャンルの講師の体験談を聞いた後、実際に挑戦しました。

受講生からは「ボランティアにいかせる貴重な経験ができました」、「これなら新たに取り入れてみたい」などの声も聞かれ、今後の活動に活かせる"何"かをみつけたようです。

▲アロマハンドマッサージ

▲バルーンアート

▲マジック

▲おんがく

編集 発行　ひたちなか市市民生活部市民活動課　〒312-8501　ひたちなか市東石川２丁目10番１号
（TEL）029-273-0111 内線3222（FAX）029-271-0851（E メール）katsudou@city.hitachinaka.lg.jp